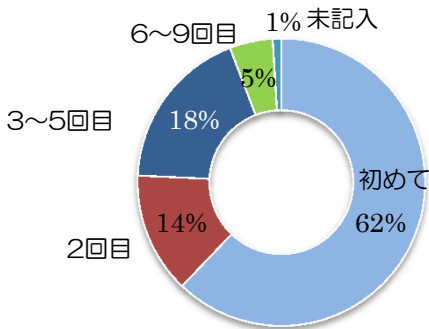
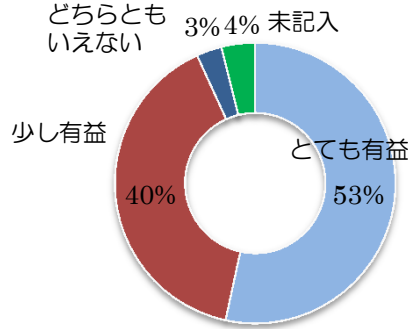


第10回設備シンポジウム アンケート集計結果

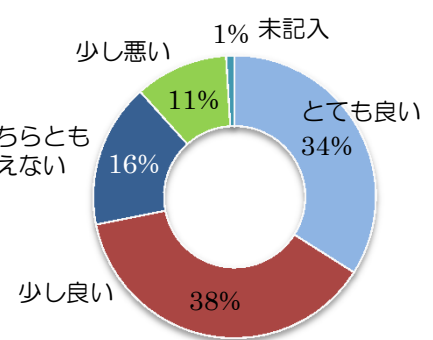
シンポジウム参加者数：309名 アンケート回収：103名



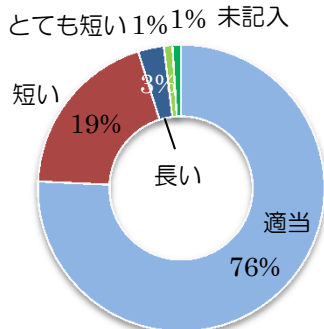
1 参加回数



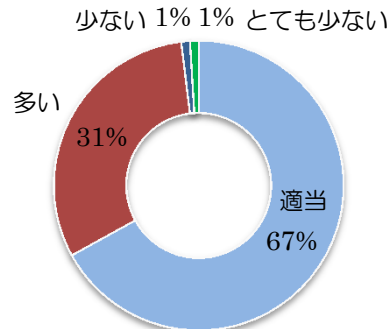
2 内容の有益さ



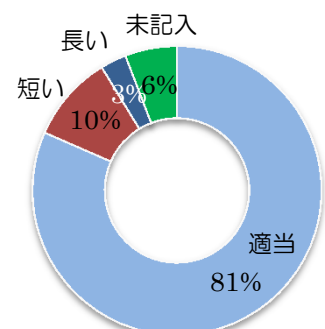
4 スクリーン・音声・テキスト



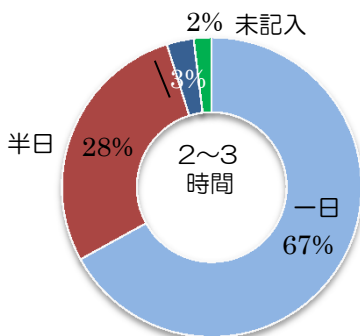
6 講演の長さ



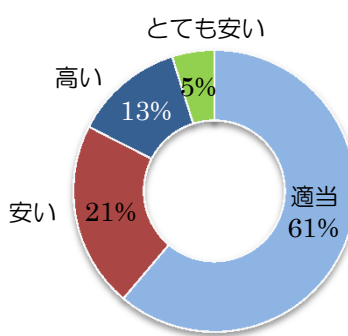
7 講演数



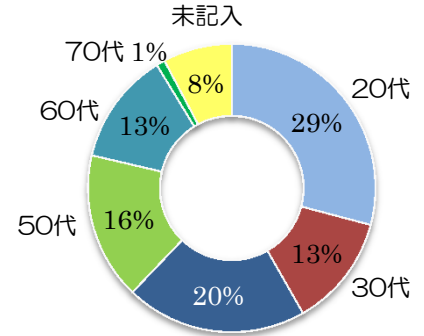
8 質疑応答



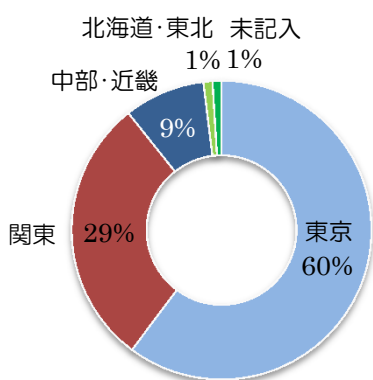
9 全体の長さ



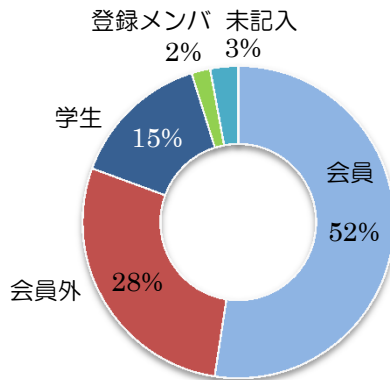
10 参加費



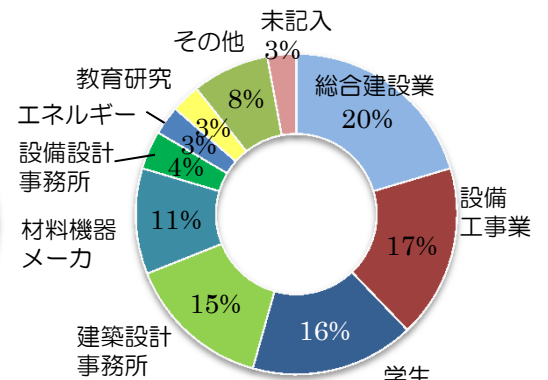
11-2. 年代



11-3 居住地



11-4 会員種別



11-5 職種

11-1 性別 男性：81%、女性：9%、未記入：10%

(補足) 内容の有益さの評価が低い(どちらともいえない)回答者3名は、スクリーン・音声・テキストの評価も低い(少し悪い、理由はスクリーン)。参加費が高いと感じた回答者は、学生が40%、会員外が40%

3. シンポジウムの内容で「有益」とご回答になった方は、具体的にその内容を書いてくださいますか。

- 5
 - 10
 - 15
 - 20
 - 25
 - 30
 - 35
 - 40
 - 45
 - 50
 - 55
 - 60
 - 65
- ・研究の現場での最新の話題について知見を広げることができる
 - ・新しい知見を得られたから。世の中の取り組み状況を概観できた
 - ・最新建物の設計内容を詳しく聞けたことは大変勉強になりました。他社設計、他社施工の建物は、このような機会でなければ、設備視点は聞けません。
 - ・自然エネルギーを有効、積極的に導入している建物が多く、勉強になりました。
 - ・設計事例・研究成果双方の観点から講演いただき、幅広い観点で大きくことができました。一方で委託研究の成果など設計者と研究者が共働した事例があればさらに良かったように思う。
 - ・"環境建築"の最新情報を得られた点で大変有益だった。
 - ・内容的に興味のあるテーマが多かった。説明PPT等も分かりやすかった。
 - ・環境建築のこれまでとこれからでZEBの分類、比較をうまくまとめていて分かりやすかった点。
 - ・建築設備技術の最新情報とその背景を把握できる。
 - ・自然換気的手法について問題点を踏まえた手法を聞くことができました。
 - ・事例の紹介や合理的な設計法等が参考になった。
 - ・様々な手法で工夫されていることに感心しました。
 - ・設計手法の具体的事例と経過について。
 - ・環境を考慮した省エネの取り組み方が色々あることが分かった。
 - ・テーマに関する最新情報を多数得ることができた。
 - ・今後の環境について多くの知見を得ることができました。
 - ・前半の事例
 - ・研究者の立場から現在の基準に対する提言が多く聞けたこと。
 - ・実務家から研究者への注文・依頼を知れたこと
 - ・多くの人の講演が聞けた
 - ・幅広い視点から環境建築の紹介があったこと。
 - ・設計時の資料に役立つ話(熱負荷計算、給排水)が聞けたから。
 - ・現在、勉強中として、全体を見ることもでき、また、研究の方向なども知ることができた。
 - ・建築、設計技術者ではないのでかなり難しかったが環境配慮のpointが理解できた。
 - ・2-1 山中先生の話
 - ・環境建築に対する設計者の方の思考の順序が分かったような気がして有益であった。
 - ・最新の環境建築事例に学べること。
 - ・個人個人の貴重な情報やデータ、経験を余すことなく話して下さった。
 - ・今後の業務に活用できる情報を得られた。
 - ・第2部についてはとても興味深く、情報として有益だった。
 - ・安田先生のお話が素晴らしかった。
 - ・ヒューリック本社ビル自然換気について実際に使用している状況について知ることができたから
 - ・最初の佐藤さんの特別講演でインパクトを受け、各種事例も拝見し、多才な大学教授陣の熱弁をいただいた。総合討論で幅広い考えを聞き、「まとめ」で満たされた。
 - ・様々な事例を聞けたこと。事業者側のことをもっと聞きたかった。
 - ・第1部の内容、特に長谷川先生の自然換気に対する切り口に興味があります。
 - ・<環境建築の「これまで」と「これから」><ヒューリック本社ビルの自然換気><温熱環境プロタクティビティの視点から><給排水システムの視点から>が有益であった
 - ・最新の環境建築の事例、幅広い建築設備分野の研究動向と課題。
 - ・様々な知見・情報が一度に得られたから。
 - ・実務と研究の両方の話が聞けるのはとても良い。
 - ・多くの事例、研究例を同時に示してもらえるので相互の関係を比較しやすい。
 - ・「話題の環境建築に学ぶ」では最先端の事例として参考になった。
 - ・全て。水(衛生)も分野外で勉強になりました。
 - ・ヒューリック本社ビル、特別講演、田辺先生、長井先生の講演。エネルギー・快適性の点について興味があったため、非常に有益な知見を得られました
 - ・初めてなので全て新鮮でした。意匠設計で普段耳にしない言葉が多く難しい内容でした。
 - ・貴重な話が多かった。自然採光、自然換気が興味が持てた。地域によるが緑の多い日本には適した部分が多いのでは。
 - ・建築設備の分野の最先端の設計事例ならびに研究を学べたから。
 - ・ビルの所有者に対して、消費エネルギーを減らす運用アドバイスですが、色々な手法を紹介していただき、考え方の幅を広くすることができる。
 - ・現在の環境建築の実例が参考になった。
 - ・現在の設計基準に着目し、改善しようとする動きがあることを知れたので。
 - ・鹿島建設の佐藤様のご講演資料は今後の建築環境を考える上で非常に有益なヒントになると思います。
 - ・環境建築に関するアプローチについて参考になりました。
 - ・環境建築に対する理解が少し深まったため。
 - ・最新のトレンドが分かりやすかった。
 - ・話題の環境建築の紹介と環境建築研究の紹介を同時に聞くことができ、とても勉強になった。
 - ・環境建築の最新の情報が得られた。
 - ・様々な環境建築の実例を知れた。
 - ・今回のシンポジウムは自分の研究分野と合致しており事例研究・卒業研究の参考になればと思い参加致しました。自分の将来・進路を決める上で参考になるから。
 - ・私自身知らない用語等知ることができたこと。
 - ・建築設備シンポジウムの雰囲気を楽しむことができた。専門知識や情報量が多かったので、整理したうえでまた参加したい。

- ・最新の研究事例や設計事例など幅広く聞けて良かった。
- ・新しい研究について聞けた。
- ・環境建築に関する動向を知ることができた。
- ・新しい情報が入る。
- 5 ・実務の情報等をきけたため。
- ・業務施設における消費電力・負荷・室内環境の実態を知ることができたから。
- ・熱負荷参考になった。
- ・換気/温熱
- ・給水設備

10

4. スクリーンの見え方、音声の聞こえ方、テキストの見易さについて「悪い」とご回答になった方は、具体的にその内容を書いてくださいますか。

15

- ・発表資料を添付してほしい
- ・プレゼンテーション画面に表示される文字が小さい方が多く、前の方に座っていても見にくかったです。できれば、プレゼ画面も資料配布してほしい。
- ・後ろの方の席だとスクリーンが見えにくい
- ・参加費 5000 円程度で写真のカラー化が可能であればそうしてほしい。

20

- ・スクリーンが少し暗い。
- ・テキストの図はもう少し大きくしてほしい。
- ・スクリーンが小さく字が見えづらい
- ・この会場の限界でしようが、後方の席ではスクリーンが少し見えづらくなる。もっと前方の席に誘導された方が良かったかもしれないが現状でいいと思う。

25

- ・発表の PPT も入っているとうれしい。
- ・説明用パワーポイントとテキストが違うため(テキストは論文形式)戸惑った。
- ・スクリーンの内容の PPT をテキストとしていただきたいかった。
- ・スクリーンに写し出している照射光量が足りず見にくい。
- ・スクリーンが遠い。

30

- ・暗くて見にくい。先生の表情が分からない。チャイム音がしつこい。
- ・悪くはないがホールとスライドの色合いが自分には合わず、目がチカチカすることがあった。
- ・後ろの席だとスクリーンが見にくい。
- ・前の人でスクリーンが見えにくい
- ・前の人がスクリーンを遮って見えない。

35

- ・スクリーンが小さくうしろの方では見えない。スクリーンが暗い。

自由記入欄

40

- ・実務と学術・研究との接点・関連・相違点を知りたい。(理屈と現実の乖離) →ディスカッションがおもしろかったです。
- ・休憩時間も少ないのに、飲み物も持ち込み不可なのは少しつらいです。また、できれば机がほしいです。
- ・環境建築の設計で LCC(または建設費)をどのように評価して導入可能となったのか、苦勞したところだと思うので興味があります。CO2 の削減容易性とコストについて。
- ・非常に内容のあるシンポだった。

45

- ・事前に資料を読んでおきたいです。事前配布できませんか？
- ・環境建築とは何か。環境建築のこれからのあるべき姿について意匠、構造、設備、研究者など、様々な立場から議論を深めた方がよいのでは？
- ・安田先生の「失敗したとしても設備のせいにはできちゃう」という一言が遺憾でした。その中で牧村氏のご尽力の貴重なお話を伺えて良かったです。

50

- ・非常に分かりやすく有益でした。テーマも一貫していて良かったと思います。
- ・個々人の研究成果や見解は不要。論文を読めば分かる。それらを総合してこうあるべきという方向性を示してもらえると非常に有意義。
- ・御講演者は若手～中堅の方が学生さん方には聞きやすいかもしれないと感じました。
- ・熱・空調が中心の内容だったので、電気についての講演も聞きたい。

55

- ・午後の会場が少し暑かったです。
- ・設計で失敗はできないので新しい設計法を導入したいが担保がないので昔ながらの設計法で行っているのでは？省エネルギー提案などで今回の講演でより様々な手法で提案できるようになると考えている。
- ・スマート化と、個々の情報が判ってしまうことで、個人情報を守るか？
- ・学生は無料(または 500 円)にしてほしい。

60